

加・減圧用サンプラー

～ 使い方ガイド ～



「加・減圧用サンプラー」とは

大気中と比べてサンプルの**パッケージ内が加圧(ガス圧が高い)**または**減圧(ガス圧が低い)**で包装された商品(レトルト、缶詰、ペットボトル、真空パックなど)の測定に使用します。

加圧・減圧サンプルの場合、ワグニット*やポンプを破損させる可能性があり自動サンプリングできないため、「加・減圧用サンプラー」のシリンジの操作で、ガス圧を常圧に戻してサンプリングします。



*「ワグニット」は、弊社酸素センサーの登録商標です。

使い方(測定)

切替コックとシリンジによる、吸引/排出の一連の操作により、サンプルからの「加圧ガス」や「減圧ガス」を常圧にして、測定を可能にします。切替コックが「中立」になったところで、シリンジ内のガスが常圧になる仕組みです。

測定するサンプルに注射針を刺す

吸引操作



切替コックをゆっくり**吸引**の位置に回し、シリンジを最大まで引いて吸引する。

常圧化操作



切替コックを**中立**に回し、シリンジ内を常圧にする。

減圧サンプルの場合、圧力差によりシリンジが自然に引き戻されるため、手でシリンジを引っ張ったまま切替コックを「中立」に回す。

排出操作



切替コックを**排出**に回し、シリンジ内のガスをゆっくり排出する。

(この吸引/排出の操作を2~3回繰り返す)

パックマスターの測定ボタンを押す